

# 胃レントゲン検査を受けられる方へ

## 【 検査方法 】

バリウム（造影剤）を用いて、食道・胃・十二指腸をレントゲン撮影する検査です。  
胃を膨らます発泡剤（炭酸）とバリウム（造影剤）を飲み、検査台の上で横になったり、うつぶせになったりして、身体の向きや位置を変えて動いていただくことが必要になります。  
当センターでは鎮痙剤（胃の動きを抑える注射）は使用しておりません。

## 《 胃レントゲン検査が適さない方 》

- お腹の手術を受けたことのある方や便秘のひどい方  
（検査後にバリウムをうまく排出することができずに、腸閉塞などを起こす危険性があります。）
- 身体的に体を動かすのが困難な方  
（検査台からの転落の危険性があります。）
- 食べ物や水分の飲み込みがうまくできない方  
（バリウムをうまく飲み込めず、誤嚥（誤って気管に入る）の危険性があります）
- バリウム（造影剤）にアレルギーがある方
- 75歳以上の方（受診者の安全性を考慮）
- 妊娠中、授乳中、妊娠の可能性のある方
- 体重 130kg 以上の方

## 《 胃レントゲン検査後の注意事項 》

- 検査終了後すぐに、多めの水（コップ2杯程）で下剤2錠を飲んでいただきます。
- バリウムは体内に吸収されることなく、胃から小腸、大腸へ進み最終的には肛門から排出されます。そのため、水分をたくさんとって早めに白い便を出すようにしてください。そうしないと、腸の中で固まって排出しにくくなってしまいます。注意してください。
- 検査終了後1日経過してもバリウム便（白い便）が全く出ない時や、急に腹痛が伴う場合は、近隣の医療機関を受診してください。

お問い合わせ 那覇市立病院 健診センター 電話：098-884-5111（代表）